

第二術科学校オープンスクールに参加して

カレッジ防衛モニター 西山 望

私は9月19日に横須賀市田浦に拠点を置く、海上自衛隊第二術科学校のオープンスクールに参加しました。田浦と自衛隊のつながりは深く、海上自衛隊の前身である海上警備隊や、その司令部がこの地で創設されました。自衛隊と一概に言っても部隊では様々な専門知識が必要とされます。術科学校は全国各地に点在しており、広島県呉市には機関、潜水艦を除く艦艇を担当する第一術科学校があり、千葉県柏市には航空機関連教育を担当する第三術科学校があり、京都府舞鶴市には経理、補給関連を担当する第四術科学校があります。そして、先日訪れた第二術科学校は機関や語学等を担当しています。

当日は、ディーゼルエンジンの展示やなみ型ガスタービントレーナー体験など、普段は絶対にお目にかかれない探究心を刺激するような素晴らしい企画が多々ありました。その中でもディーゼルエンジンの展示が一際大きく心に残りました。展示に使われたエンジンはあぶくま型に搭載されているものと同じもので、何よりもこれが護衛艦を動かしているものだと思うとこのエンジンを作った三菱重工もそうですが、このエンジンを組み立て、管理をする自衛官の皆様の力量に感心するばかりです。

各々がそれぞれ必要な専門知識や技術を術科学校で学び、現場でそれを生かす。それが今の日本を護る力になると思うと胸にこみ上げるものがあります。私たちの知らない素晴らしい自衛隊の一面はまだ沢山あると思います。オープンスクールは自衛隊の隠れた魅力を普段自衛隊に触れない私たち民間人に伝えるいい機会であると思います。これからも積極的に自衛隊関連のイベントに参加し、自分だけではなく家族や友人にも影で努力する彼らを知ってもらい自衛隊という組織への理解が更に深まればいいと思います。

神奈川区民祭で自衛隊をPR！

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚3陸佐）は、10月11日（日）、横浜市神奈川区の反町公園で開催された「神奈川区民祭り」において、自衛隊広報ブースを設置し、広報活動を行った。

広報ブースでは、ちびっこ迷彩服・海上自衛隊制服試着コーナーと災害派遣のパネルや南極の石の展示等を行い、地域住民との交流を図った。特に、試着コーナーや「はまちゃん」との写真撮影会は大盛況で、たくさんの親子連れの行列ができるなど大いに賑わった。また、9月の鬼怒川決壊における自衛隊の災害派遣活動パネルを見た来場者からは、「自衛隊は本当に偉い」、「大変でしたね。頑張ってください」など多くの激励の言葉が聞かれた。また、当日は多くの募集対象者や自衛官募集相談員もブースに顔を見せ、激励するとともに、ブースの賑わいに一役買っていた。横浜出張所は、「今後も、地域と密接に連携した様々なイベントに参加し、自衛隊の活動に対する理解を得る努力を継続していきたい」としている。



激励に訪れた募集相談員



南極の石を触るブースを訪れた募集対象者